

子ども向け

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ

議員視察報告

学びを活かす

特集Ⅰ

議会見学会

特集Ⅱ

決算審査

この事業

こう評価!!

特集Ⅲ

政策提言
「議会から町への提案」



Fujimi

議会だより

No.

184

令和6年11月1日



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>

第11回 富士見の日 フォトコンテスト・議長賞「深呼吸したくなる秋」 小口恭子



子どもの 居場所づくりは

社会文教常任委員会では、7月3日～4日と山梨県韮崎市、静岡県富士市、神奈川県川崎市の行政視察をした。昨年、国の「子ども基本法」が施行され、各自治体では子どもの意見表明権を聞き取り政策に反映させる様々な取り組みが始まっている。その先進事例として、川崎市「子ども夢パーク」、韮崎市「青少年育成プラザ ミアキス」で、お話をうかがった。

川崎市

子ども夢パーク

2000年12月、200回以上の市民委員会が持たれ「川崎市子ども条例」が制定されたことで、2003年7月にオープンした。NPO法人「フリースペースたまりば」が指定管理者となって、管理運営にあっている。年間7～8万人の利用があり、開所からの利用は150万人を超えるという。視察当日も、大勢の子どもたちが夢パークやフリースペース「えん」で、自分の活動を楽しんでいた。

日常の取り組みの3本柱

① 子ども夢パーク

ケガと弁当は自分持ち「～禁止」のない遊び場。

② フリースペース「えん」

学校の中に居場所を見つけにくい子どもや若者のための公設民営のフリースペース。

③ 子どもの活動拠点

川崎市子ども会議（月2回程度の開催）、他市町村の子ども会議との交流。

「目の前にいる子どもに合わせてみませんか？」という問いかけをすることで、制度や仕組みを子どもの方に引き寄せてみる必要があるのではないかというお話に共感した。



夢パーク全景

安定した継続的な運営を目指した取り組み

市民の力を運営に活かす

ボランティアの「夢パーク支援委員会」開所準備段階から関わる利用者懇談会「つくりつづける会」

地域に支えられる夢パーク

地域ネットワークの構築やボランティア活動

韮崎市

「青少年育成プラザ ミアキス」ユースセンター（中高生の居場所）

2011年9月、韮崎駅前に韮崎市民交流センターNICORIが開設され、2016年、中高生の拠点事業として、NICORIの地下スペースにオープンした。NPO法人「河原部社」が、ミアキスの管理運営と関係人口創出事業を委託されている。年間利用者は8,000～10,000人。行政と河原部社が「にらさき愛」を共通意識として、環境整備や活動展開をしていることに感動した。利用者の中高生から交替で企画委員が選出され、地域の人や歴史を学ぶイベント等が開催されている。



ミアキス



詳細はこちら



韮崎市NICORI



子どもの 意見をきくこと

8月9日(金)に子ども向け議会見学会を開催しました。
今年も庁舎や屋上見学、議場での○×クイズを行いました。
子どもたちから質問や意見も出て、活発な討論も行われました。



自分の意見を伝えることができた！

開催の様子

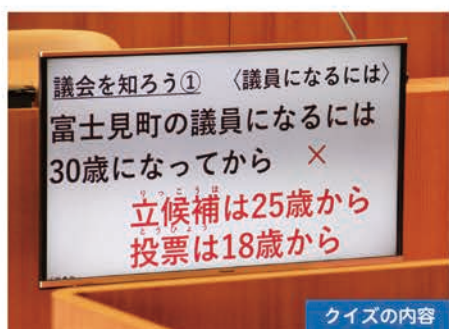
今年は8名の小学生(4～6年生)の参加がありました。議場では、議会の仕組みや、来年町制70周年の富士見町にちなんだ○×クイズを全部で10問出題。選挙や議会の会期、予算のおよその額などのクイズに楽しんで取り組んでいる様子でした。



傍聴席の注意書きに注目



クイズ内容やみんなのやりとりに思わず笑顔



クイズの内容

議場で出た質問や意見

- 中学校での自転車通学を希望する意見
- 8月8日の南海トラフ臨時情報の発表に伴う町の備えについての質問
- 町の書店が昨年なくなったことについて「本屋さんがあったらいいな」という意見
- 「夏休みが短い方がいい」という意見と理由が述べられた後、「夏休みは長い方がいい」という意見と理由の発言があり、それぞれ賛成、反対の立場からの討論に

子どもたちの感想

～印象に残ったこと(原文)～

役場の一人一人が町をよりよくするためにがんばっているんだと改めて実感した。

みんなの質問でいろんなことを知れた。

(令和6年度予算で)96億7000万円のお金を使うこと。

議員の皆さんが議会をとてまたのしんでいることが印しょうにのこった。

(議員さんが)「たくさんの方とお話したり、お金やまちのことについて知ったりして楽しいよ」と言っていて、わたしも議会にきょうみをもちました。



帰りに防災担当係で話を聞きました

主催者振り返り

参加者からは今、自分の身の周りで起きていること、これからのことを伝えたいという思いが伝わってきました。議場でもそれぞれが伸びやかに、でも真剣に自分の思いを語っていた姿は印象的でした。帰りに防災担当係に寄ってお話を聞く中でも役場の職員の皆さんが一生懸命対応してくださるのを実感した様子でした。



『考えよう、決算』では、決算審議全般の中で各議員が質問したなかから、特に
関心のある項目を一つ、事業実績と照らし合わせ評価をお伝えいたします。



決算審議の様子

上水道

富士見町の水道水は安全か

令和5年度は日本各地で、PFOS・PFOA(有機フッ素化合物)による水道水汚染報道があった。町が委託している水質検査結果は。また、今年度は全国調査が実施されたが、その検査状況は。



山口議員

町からの回答

水源が地下水なので、安全と考えている。委託する水質検査にPFOS・PFOA

項目はない。検査項目以外でも、異常な数値の報告を受ける契約だが、報告はなかった。今年度の国から依頼のあった調査については、現在水質検査を依頼し、結果待ちの状態である。



おいしい水は、富士見町の特色。水質検査により、水道水の安全が守られており安心した。

農政

町内農業生産額

73億円(前年比103.3%)



矢島議員

73億円の生産別内訳は。

町からの回答

JA関連生産額は19億2,000万円(内訳:花卉6億1,000万円、野菜5億2,000万円、酪農4億2,000万円、米3億4,000万円、そば2,000万円、キノコ1,000万円)。農業法人53億8,000万円(内訳:野菜43億5,000万円、鉢花・苗・種10億3,000万円)。ちなみに8年前の2015年農業生産額の総額は30億円だったが積極的な取組みにより今では総額73億円に。



担い手不足や遊休農地が増加する中、町の農業は8年間で倍以上の生産額に。地域の活性化に貢献している。

補助金

公民館居場所づくり事業補助金の内訳は



西議員

令和3年度から始まった公民館を活用した居場所づくり事業に各公民館3万円支給されているが、内訳は。

町からの回答

令和5年度は居場所づくりに取り組む5つの公民館に支給。子どもたちが使用する部屋の暖房代(灯油)や掃除機等の掃除用具、棚、ポッチャなどを購入した例がある。



子どもたちに公民館が居場所の1つとして認知されているのは素晴らしい。ただ居場所となるのは常駐職員がいる大きな区に限られる。利用者の多い区では職員さんの手が足りないとの声も。人的配置なども検討を。

林業

山へ行こう事業



名取議員

令和4年に比べて利用者が大幅にのびた理由は。

町からの回答

議会からの提言を受け、申請要件を大幅に緩和しすべての森林で活用できるようにした。区有林でも活用できるように要綱を変更した。結果として18件の活用があり、区の活用は2件であったが、公報でさらにアピールした事により、令和6年度は区の活用が増えている。



議会からの提言を真剣に検討して、結果として前年度より6倍の補助金申請につながったことは評価できる。

福祉

子どもから高齢者に至る手厚い支援

小倉議員



児童虐待の情報はどのように把握しているか。歯科医院からの連絡もあるか。また、近年の障がい者の動向は。



全ての町民に対し、きめ細やかな状況把握と適切な支援が行われている。町の扶助費は町民全体を覆っている。

町からの回答

児童虐待については、小・中・高の児童生徒は自らの発信の他、保健室を通じての報告もある。保育園は保育士が気付くこともあり、歯科医院から報告が入ることもある。障がい者数は、精神障がい者と18歳未満の療育等配慮を必要とする児童が年々増えている。身体障がい者は、減少傾向だが約8割が65歳以上の高齢者である。



防犯

既存防犯灯の長寿命化

牛山議員



防犯灯の電球が短期で切れてしまうことが多いため、既存の防犯灯を町主導で長寿命化に取り組んだらどうか。

町からの回答

防犯灯の新設は区・集落組合からの要望により設置を行うが、設置後の維持管理(修繕・移設・電球交換・電気料等)は各区・集落組合の負担となる。既に各地区の計画に基づいて対応していることから、引き続き設備の維持管理をお願いしたい。



各地区の計画の変更を強いることは望ましくないが、早期の修繕や交換等で長寿命化が図られ町全体が安心安全になることに期待。

観光振興

湿原周辺の新たな活用に すずらん寮跡地購入

五味議員



公有財産購入費294万円で取得した入笠湿原周辺の早稲田中学・高校すずらん寮跡地の現状と今後の利用方法は。

町からの回答

入笠湿原の環境保全や周辺環境の新たな活用に向けた検討を行っていく予定。土地の所管は産業課なので当面は下草刈りを実施しながら責任をもって管理をしていくが、具体的な利用方法については慎重に計画したい。



入笠湿原隣接地の大切な土地を民間に先駆け町が取得できて安堵している。周辺環境の新たな活用に期待する。

財政

新規事業への余力を どう生み出すか

渡辺議員



数値が低いほど財政の弾力性があることを示す経常収支比率が90.2%と、過去20年最大となった理由は。

町からの回答

保育需要増による保育士の採用や、育休取得職員も支える余裕ある体制づくりなどで人件費前年比1億23万円増。自立支援や福祉医療などの制度を利用する住民が増えたため扶助費前年比2,102万円増。利子抑制のための短期借入もあり公債費前年比9,204万円増だが、起債の影響を長期化させずに新規事業に備えている。



経常的支出以外に、老朽化する公共施設/道/橋への支出も増加していく中、新たな施策への余力作りに期待。

継続事業

高原の縄文王国収穫祭の 人気と評価

三井議員



ワークショップ・神話再現の他に、令和5年度内容を工夫したとあるが、評価が高く人気がある要因は。

町からの回答

事業内容に工夫を加えて新イベント「縄文物々交換」を計画・実行したことで、人気イベントとして同業者の評価も高く、SNSでも話題となった。毎年少しずつ内容を変えながら、職員と実行委員会の中でアイデアを出してもらって、イベントに結び付けている。



継続事業は、年度毎に内容を見直し目的達成のために変化されていることを評価します。

決算審査で出てきた課題から
予算につなげたい
全会一致の政策を提案



「政策」

令和6年 提出

政策提言

各議員からの提言候補は

21 項目

一部を抜粋掲載

- 補助金の基本指針の策定と見直し
- 気候変動を好機と捉えた就農者発掘
- 事業継承支援
- 防犯カメラ設置

などなど、沢山の
アイデアを議論



全議員11名が同意できた

1項目に絞り込んで提言

提言

空き家対策（調査と課題に対する解決策）

空き家所有者の意向を含めた実態調査の実施

調査に基づいた推進計画の策定による、課を横断した対策の実施



課題解決に向けた施策例

- 空き家の状態、所有者や地域の意向に合わせた賃貸 / 売買 / 解体促進策の提示
- 移住・定住ニーズに合わせた賃貸 / 売買物件、宅地の確保

私たちが

決算報告

令和5年度 決算審査結果

「持続可能なまちづくりと財政健全化の取組」



里見孝明 監査委員

織田 昭雄 監査委員（議会退出）

令和6年7月11日から7月26日までの5日間にわたり審査を行った結果、各会計の予算は適正に執行されていると認められました。

令和5年度の一般会計決算では、子育て支援の拡充や小学校入学祝い金の支給、学校施設の改修、観光誘客・里山整備事業の充実、健康促進のための検診受診率の向上に取り組みました。また、省エネリフォーム補助や宅地造成支援事業を通じて、環境保全と移住促進を進めています。

実質公債費比率は前年度比2.1%増の6.3%となりました。これは有利な起債を活用した大型投資の影響によるもので、今後も上昇が予想されるため、注視が必要です。しかし、将来を見据えた積極的な投資の結果であり、計画的な財政運営に期待します。

提言



議員全員が同意できる
提案になるまで話し合いを重ね
提言を作りあげる

合意
形成

令和4年 提出提言

反映結果

提言1

3市町村共同宣言に基づく
連携 / 事業協力

- エコライン延伸について県も前向きに取り組んでいる
- JAと連携し減肥減農薬での生産体制が進められるよう調整中
- ワインは生産量も増加し品質調査で高評価を得ている



提言2

富士見高校園芸科を
総合技術高校へ

高校再編整備計画三次の表記修正に町の意向が反映され、新校再編の懇話会、魅力化懇話会で引き続き意見をしていく。地域おこし協力隊を配置し、富士見高校と町の協力体制を構築中



提言3

山へ行こう補助金拡充
による森林整備

要綱を改正し全山林に適用範囲を拡大、区や集落組合の整備も対象としたところ取組面積が増加。今後も周知に力を入れる



提言4

超少子化対策事業の強化

- 出産祝い金と小学校祝い金をすべての子どもに支給(各10万円)
- 幼児や障がいがある子どもでも楽しめるブランコ新設
- 小中学校の給食費への物価高騰補助を実施



令和5年 提出提言

進捗状況

提言1

町内外への情報発信強化のための
コミュニケーションチーム新設

富士見出身で「地域力創造アドバイザー」の監督のもと、下記3点を検討/実施するワークショップを、役場職員25名、町民5名で年3回開催中。

1. 情報発信の改善のための体制構築
2. 情報発信の戦略 / ブランドコピー、ロゴの作成
3. SNSや既存の発信メディアの効果的な活用

地域の魅力の
洗い出し

01

魅力の言語化
発信する方法
を考える

02

ブランド戦略や
コピー・ロゴの
検討会

03



提言2

エコライン延伸

R4年提出提言1に同じ



提言3

水田活用の直接交付
金支払要綱の見直し

県には小規模高齢農家への営農継続補助金創設、町村会を通じて国へは交付基準の明確化と畑地化助成金の予算確保を要望。令和9年からの完全移行に向け、他市町村とも連携して県や国への要望を継続。

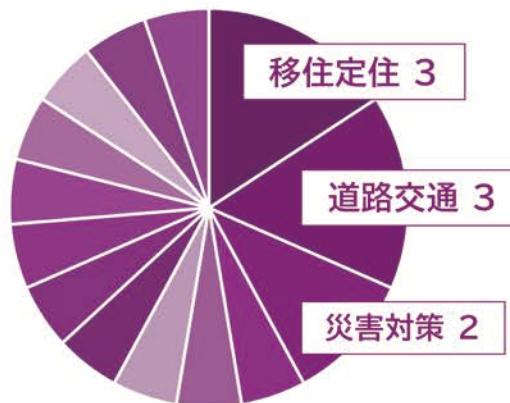


町の考えを問う

9月定例会の一般質問は9月2日・3日の両日行われました。7人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。

質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。

一般質問で取り上げられた主なテーマ



一般質問の映像はコチラ



9月2日

質問順

1

おだ てるお
織田 昭雄

議席 1

1. 町の空き家対策の現状について
2. 集落内の一級河川の管理状況について
3. 南海トラフ巨大地震への備えについて

2

わたなべ よう
渡辺 葉

議席 6

1. 少子化対策と移住定住促進の関係性について
2. 入区率向上など地域の課題解決にも繋がる移住施策について
3. 子育て世代の移住定住者の住まいとしての戸建賃貸・宅地整備について

3

にし おきこ
西 明子

議席 10

1. 富士見小学校児童クラブの新設と「放課後の居場所づくり」事業について
2. 自転車の利用について
3. 高校と町との協働、今後の道筋は

4

おぐら ゆうこ
小倉 裕子

議席 9

1. 「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の地域医療機関支援事業について
2. 町有観光施設の人材育成は
3. 多発する災害情報を確実に町民へ届ける必要性和手段について

9月3日

5

やまぐち はじめ
山口 肇

議席 2

1. 6月26日に実施された「下校時避難訓練」について
2. 中学校の部活動の地域移行について
3. 子どもの意見表明権について

6

うしやま よしひこ
牛山 吉彦

議席 5

1. 町内で多発する交通事故への対応について
2. 運転免許証自主返納者へのケアについて
3. 誰もが安心して利用できる「地域公共交通」実現に向けて

7

なとり くにはる
名取久仁春

議席 7

1. 八ヶ岳観光と創造の森整備について

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

町の老朽化が激しい空き家の実態は

答弁 空き家特別措置に基づく予備軍は把握済み

映像はこちら



おだ てるお
織田 昭雄 議員

Q 町内の老朽化が激しく住むことが出来ない空き家の軒数を把握しているか。

A 平成27年に空き家調査を実施し454軒の空き家が有り218軒は老朽化が激しく住むことが出来ないとされている。適正に管理されておらず近隣に影響を及ぼしている空き家は地元区の情報に基づき整理しており、空き家対策特別措置法に基づく特定空き家の予備軍として把握している。別荘地の実態調査も検討していく。

Q 空き家対策特別措置法に基づき何らかの措置が必要な空き家は何軒該当するか。

A 既に近隣に影響を及ぼしている空き家は9軒で、これらは地元区から情報が寄せられたものである。建物の老朽化倒壊の危険があり、敷地内の草木が繁茂し環境に悪影響を及ぼしているため所有者を特定して適正な管理をお願いしている。

Q 空き家特別措置法の執行が難しいのであれば他自治体が行っている老朽危険空き家除却補助金の制度を新設出来ないか。

A 老朽化した建物の取り壊しが進めば空き地となり土地の有効活用が図れる。特定空き家になる様な建物の取り壊しに補助してインセンティブを与え除却促進するのも一つの考えであるが、町は新しい補助の創設については不動産の管理に関する様々な補助などがあるので慎重に考えたい。



倒壊も危惧される空き家(イメージ)

出生数減を受け子育て世代転入に更なる注力は

答弁 R6年度予定出生数43人。次の展開に繋げたい

映像はこちら



わたなべ よう
渡辺 葉 議員

Q 子育て世帯の転入で子どもの数が維持されているが、各課横断的な人口目標の一部として小学校1年生の児童数も指標にできないか。

A そのようにしていきたい。

Q 賃貸物件不足による子育て世代の移住定住者の取りこぼしがあるのでは。

A ファミリー層の要望で一番多い空き家の賃貸物件は年に数件しか発生しない。

Q 集落から空き家情報が出ない要因のひとつに、移住者対応が集落の負担となっている現状もあるが。

A 転入者にも地域コミュニティの重要性を理解頂くことが重要。等身大の集落の魅力を発信する動画、集落の概要や行事を掲載した案内、移住サポーター等を検討したい。

Q 空き家改修と賃貸運営に取り組む民間組織との連携には国の補助も豊富にあるが。

A 公共財産は増やせないが、先進地の視察を通して研究したい。

Q 賃貸運用目的の空き家修繕補助金の活用は。

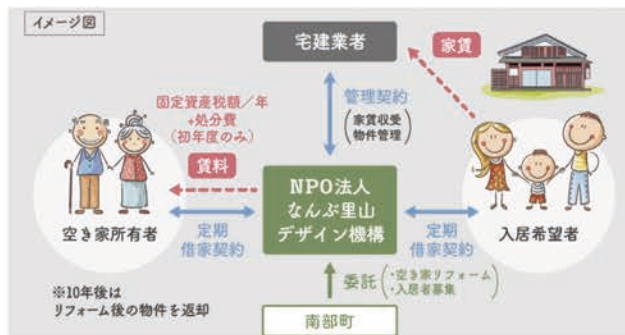
A 改修後賃貸契約の申請ができるよう改正し、利便性向上を検討したい。

Q 老朽化が激しい公営住宅は解体・提案型売払を公募し、戸建やファミリー向けの集合住宅に適した宅地を生み出す考えは。

A 人口減少対策として民間活力も視野に入れ今後の活用を検討したい。

Q 再利用が難しい空き家には解体費への補助金や、解体後の固定資産税減免を検討しては。

A 解体を促すインセンティブもひとつのあり方だが、不動産の管理は所有者の義務であり、慎重に検討したい。



民間組織と連携し賃貸物件を創出する自治体も

児童クラブ新設、庁内の情報共有は充分か

答弁 待機児童を出さず、子どもたちの安心が第一



にし あきこ
西 明子 議員

■富士見小児童クラブの利用実態

Q 利用申込み者が定員の70名を超えたのはいつからか。登校日、長期休暇での利用者数、最大利用者数の推移は。

A 平成27年度から申込みが100名を超えている。この年に厚労省の放課後児童クラブのガイドラインが見直され、対象児童が小3から小6まで拡大されたため。1日の最大利用者数は昨年度までは登校日が70名程度、長期休暇が65名程度で推移していたが、今年度は登校日82名利用、長期休暇が92名の利用予定。

Q 「第2期子ども・子育て支援事業計画」には「放課後の居場所づくり事業」により児童クラブ利用者の分散化を図るとあるが、実態は。

A 放課後、安心して過ごせ、地域の方とのふれあえる場所が増えたのは成果だが「居場所づくり事業」を進めることが児童クラブ利用者の分散化には必ずしも結びついていない。

■町内の自転車の利用状況

Q 中学校での自転車通学の許可状況は。

A 現在、自転車利用による通学は許可されていない。

Q 町の計画での自転車の位置づけは。

A 電動アシスト自転車の普及等により、起伏が多くても無理なく移動でき、車に代わる移動手段として自転車が見直されてきている。策定中の「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」にも環境負荷の少ない有用な交通手段として位置づけていきたい。今年度、自転車用ヘルメット購入補助金を創設し、さらなる自転車利用促進を期待している。



児童クラブの利用者増加はここ数年の課題

地域医療機関支援事業への協力要請は

答弁 実態に合わせた運営補助を協議していく



おぐら ゆうこ
小倉 裕子 議員

Q 富士見高原病院は外来患者の約半分を、隣接する市村の患者が占めている。ハヶ岳定住自立圏共生ビジョンの地域医療機関支援事業を他の2市村にも協力してもらうよう協議できないか。

A 現在富士見町は、特別交付税を活用して公的病院等の運営費補助金を交付している。定住自立圏内の救急医療体制を維持するために救急搬送受入れ地区別構成比等の数値を参考にし、運営補助の協議を進めていきたい。

■町有観光施設安全対策等委託事業の今後の取り組みは

Q 町が複数貸与する町内の観光施設では改修予定もあるが、その効果を十分に発揮させるには人材育成も重要な要素となる。町有観光施設安全対策等委託事業の今後の取り組みは。

A 研修実施後、活発な意見交換や気づきも生まれ、やる気にも繋がってきたことを実感している。今後も更に内容の充実を図って実施する。

■多発する災害情報を確実に町民へ届ける必要と手段は

Q 災害時に防災無線が聞き取れない場合がある。全町民が同時に同じ情報を得、さらに安否確認を双方向で行える機器もあり、その運営体制を地域の手で、という声もあるが。

A 防災無線を補完するために戸別受信機の無償貸与や防災アプリ等複数のツールで情報発信を行っている。また双方向機能は災害時の混乱を防止するため関係者に限定している。運営体制については公平で安心安全な対策を担保できるかが検討の重点となる。



子どもの話を「きく」とは

答弁 子どもを地域住民の一人と認識し話をきく



やまぐち はじめ
山口 肇 議員

■6月26日下校時避難訓練

Q 新しい試みをすることで、見えてくることがある。今回の避難訓練を通して防災意識の高まった子どもたちを地域の防災マップ作りに参加させる予定は。

A 子どもたちも住民の一人なので、意見や考えを防災マップ作りのようなところに活かしていくべきだと思う。関係者の中で、今後検討していければいい。

■中学校部活の地域移行

Q これまで教員が負担してきた物理的・精神的、経済的な負担を外部指導員の方に負わせてはいけないと考える。町の考えは。

A 全く同感。よりよい持続可能な地域クラブの運営について、原村とともに研究していく。

■子どもの意見表明権、政策への意見反映

Q 11月に実施予定の「子どもの意見をきくワークショップ」は、今後も継続されるのか。

A 子どもたちが参加してよかったと思える会にしたい。どのように意見反映されたのか報告もし、今後も継続的に取り組む予定。

Q 「子ども・子育て支援事業計画」「こども計画」の目的や必要性について、広く住民に知らせ、意見を求め、協力を得る必要がある。町の考えは。

A 講演会等、住民への周知方法も含め検討したい。



9月4日(水)登校時避難訓練

役場下交差点にラウンドアバウト導入を

答弁 歩車分離を想定した事故再発防止策に注力



うしやま よしこ
牛山 吉彦 議員

Q 役場下交差点に信号機が設置されてから交通事故が多発しているが。

A R4.12月に北通り線が開通して以後、当該交差点では何件かの交通事故が発生し町としても深刻に受け止めている。8/5に県や町の関係各署による交通事故再発防止検討会議を行い、事故抑制に有効な歩車分離など物理的な対策が実施されるまでは町として注意喚起に努め、関係各機関で可能な対策を実施する。

Q 信号機の無い横断歩道で一時停止する割合が長野県は圧倒的に高く「歩行者に優しい県」であることから、ラウンドアバウト（環状交差点）の導入も検討すべきと考えるが町の意向は。

A 信号機が無く右回りの一方通行であるため、車が交差点に進入する際に減速するなど車の通行における安全性が向上し、歩行者が交差点に入り込むことも無いため歩行者の安全性も向上する。県内には飯田市や軽井沢町など導入実績があるが、通常の交差点より広い用地が必要となる。役場下交差点は都市計画道路として工事を進めR4に供用を開始しており、新たな用地を取得しラウンドアバウトにすることは当面考えていない。

■地域公共交通の将来像

Q 誰もが自家用車に頼らず町内を移動できる富士見町の地域公共交通に向けての町の取り組みは。

A 定時定路線のコミュニティバス実証運行は町民の期待が非常に大きい。またトヨタの取り組んでいる「ハーフデマンド」も情報交換しながら研究したい。



飯田市東和町 環状交差点

創造の森整備計画の事業内容と予算規模は

答弁 5か年計画を令和6年から7年で策定する



Q 企業版ふるさと納税で多額な納税がされた。用途はハケ岳観光振興に役立ててほしいとのこと。では令和5年度に策定した富士見高原創造の森整備計画の年度毎の事業内容と予算規模は。

A 全体的な整備計画は令和6年度から7年度にかけて決定していく。今年は眺望テラスや休憩ベンチ、遊歩道の整備を計画している。また登山道の整備とかその他の事も含まれるので、専門のコンサルタントに関わってもらう予定。

Q 今後の集客見込み数は。

A 整備後の2030年には8万人を見込んでいる。

Q トイレや雑排水の処理は。

A 合併浄化槽での処理を予定している。

Q 創造の森へのアクセス手段としては徒歩、カート、リフトがある。お客様の増加に 대응する為には、それぞれに増強する必要がある。その整備計画は。

A まずカートについては乗降場所やその距離について改善していく。リフトの改修等については、富士見高原リゾート、あるいは広原財産区にも相当な覚悟を持って取り組んでもらいたい、これから相談していく。

Q カフェやトイレの充実、現在のカートの乗降場所である望郷の丘で行うべきでは。

A 一番眺望の良い望峰の丘までカート道を延伸し、そこを中心としたい。

Q 官民共同による自然環境の向上とは。

A 試験的にボランティア活動による植栽を計画している。



現在のカート乗り場

YOUR FUTURE

／ 聞かせて ／ あなたの未来

あぶらえ（エゴマ）のおはぎ、錦糸うりのサラダ。地元野菜を活かした9月の給食の献立例です。こうした食材は生産者団体「ふじみ農村よっちゃぱり」の皆さんが各保育園や学校へ届けています。今回、メンバーの方にお話を伺いました。

Q:活動はいつから?

農村女性連携会議が母体となり、「地元野菜を学校給食に!」というなかで2004年に「ふじみ農村よっちゃぱり」となりました。月に1度「地域食材の日」が学校給食で始まったり、長野県の政策も後押しになったりして、給食の地産地消が進んでいきました。

Q:価格の決め方、食材の届け方は?

直売所の価格を参考にしています。栄養士さんから担当者に注文がきて、会の皆さんに声をかけ、会のなかで野菜を集めて、学校や保育園に届けています。高齢化や距離の都合で野菜はあるけど届けられないという人もいて、連絡、調整など大変な面もあります。

Q:何種類くらいの食材を提供していますか?

今は60種類くらい。当初はにんじん、玉ねぎ、じゃがいもの3種類だけでした。栄養士さんと「今、どんな野菜がありますか?」「こういうものが旬ですよ」とやりとりしています。担当者との話し合いが上手くいっているから種類が増えているのかもしれない。



Q:今後の課題は?

「地元の野菜を食べてもらいたい」という思いのもと、栄養士さん、調理員さん、農家との日常的なつながりのなかで知恵を出し合ってきました。モノを届ける、持っていく、という仕組みの課題もあります。他の地域の事例も参考に、今後よりよい流通体制なども含めて考えていきたいです。

【まとめ】 これまでの大変だったエピソードとともに、子どもたちとの農作業体験、校内放送での生産者の紹介など、給食を通して名前を覚えてもらえる喜びも語ってくださいました。地産地消給食の持続可能性を探る必要性も強く感じました。
(文責: 西 明子)



錦糸うり



見本
おはぎ給食

災害時における地方議会の役割とは

～災害前・災害後に議会はどう動くべきか？～

うしやま もとき

議長 牛山 基樹



地震・台風・大雨・火災・・・自然災害は巨大化、頻発化、多様化、長期化に加え、感染症の感染拡大や、国際紛争によるリスクといった人為災害も懸念されています。また、地震直後に豪雨が襲う。感染症拡大の最中に震災が見舞う。といった複合化も考えられ、多発・激甚化する災害有事を想定する中で「町議会はどのような役割を果たさなければならぬのか」「住民の代表として議会機能をいかに維持するのか」について計画策定が求められています。

発災後議会は、直後の対応と復旧に時間がかかることの双方の視点から、災害対策本部の業務を邪魔しないという前提の中、議会と議員の取るべき非常時の手順と行動規

範を体系化しておくことが求められます。議会及び議員の役割や行動方針を明らかにする、議会業務継続計画（議会BCP）の策定は、滞りのない初動対応と迅速な議会の機能回復を図り、信頼できる正確な情報の一元管理と共有から、住民ニーズを的確に反映した早期の復旧・復興に取り組むことを目的とし、策定に向け調査研究を始めています。

想定外のことは「いつでもどこでも起きる」ことを前提に、計画は広く住民に公開し行政や住民との連携の中で住民の安心に繋げてまいります。

臨時会

第538回

令和6年8月

令和6年8月2日臨時会が行われました。内容は町の一般会計補正予算、決定事項は以下の通りです。



動画はこちら

8月臨時会で決まったこと

補正
予算

346万円



児童クラブ室新設設計

富士見小児童クラブの利用者増加に伴い、学校敷地内にプレハブ2棟を新設するための設計費（70人定員を超える利用者への対応として施設を新設し150人定員へ）

Q 利用者（児童・保護者）や支援員などへの事前の意見聴取は。

A 児童と保護者には行っていないが児童の様子は常にみており、支援員からも改善を強く要望されていたので、今回の上程に至った。

Q 施設の新設・設置場所の判断や設計前に利用者や支援員等の声を聴くべきなのでは。

A 日々声を聴いているつもりだが不十分であったかも知れない。業者が決まる前に意見聴取して設計に反映させたい。

Q 公共施設統廃合の計画に反する動きではないか。

A 公共施設の延べ床面積を2056年までに38%減らすという町の目標は職員全体で共有しているが、児童クラブの現状を踏まえ苦渋の決断として議案を提出した。

Q 学校の空き教室や旧落合小など既存施設の活用は検討したか。

A 多方面にわたり検討したが、「学校から解放された空間」「子どもが安心して利用できる施設」等を優先し、新設する決断に至った。

Q 来年4月開設にこだわる理由は。臨時会ではなく当初予算や定例会でじっくり審議されるべきでは。

A 新学期から同じ環境を提供したいと考えている。現状や関係者の窮状を踏まえ、今取り組むべきだと判断した。

令和6年8月 第538回 富士見町議会臨時会 採決結果

○賛成 ●反対 ※棄権

議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	三井 新成	牛山 吉彦	渡辺 葉	名取久仁春	五味 仙一	小倉 裕子	西 明子	採決結果
議案名等											
【町長提出】											
[議案第1号]令和6年度 富士見町一般会計補正予算(第3号)	○	●	欠	○	●	●	○	○	○	●	可決

討論

賛成 現在の窮状を考慮し、慎重に議論を進め、新設に踏み切ったことは評価する。校舎を活用することは建物使用に関する責任の所在など先生の負担が増えることや、校舎の改修などによる費用増も考慮しなければいけない。児童クラブは保護者にとって最も強い心の拠り所であり、生徒にとって居心地の良いところであることが重要である。現在も多くの子どもが利用している。早期の開設をお願いしたい。

反対 改善に動き出したことは素晴らしいが、当事者の意見交換、既存施設活用や運営体制改善などの議論が不十分であることから、十分な審議がなされない臨時会での採決に反対する。公共施設統廃合や子ども子育て計画策定などを含めた一体的な議論の場があつての施設新設でないと町民が納得できないのでは。以前から保護者・支援員が町に訴えてきた問題であることを差し置いた拙速な対応には賛成しかねる。

9月議会で決まったこと

9月定例会は8月29日から9月13日の会期で開催され、補正予算や条例改正、令和5年度一般会計決算、特別会計決算、議会提出議案、陳情等、18議案を可決、認定等しました。

条例改正



みなし口径の適用

R7.1月から水道料金が口径別料金体系に移行するため、口径20mm以上のメーター利用者向けに実際の使用水量に応じた「みなし口径」を適用

契約締結

6,380万円



テクノ街道舗装

山田製作所から中央道BOXまで、表層部分を切削し路盤再生工法による改修工事を締結

補正予算

1,774万円（全額国費）



物価高騰特別給付金

給付金再算定により対象者が当初見込みより大幅に増加したため（国費：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

補正予算

77万円



「こども計画」委託

現在策定中の「第3期子ども・子育て支援事業計画」と一体的に「こども計画」を策定するため、データ収集や再分析等を追加委託

補正予算

1,800万円



住宅リフォーム補助金

制度認知に伴う申請増による増額
住宅リフォーム80→160件
省エネリフォーム15→25件

補正予算

2,810万円



新井戸尻考古館建設

用地購入にあたり物件の移転補償費用が確定したため、その費用を補正

令和6年9月 第539回 富士見町議会定例会 採決結果（賛否が分かれた審議）

議案名等	議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	三井 新成	牛山 吉彦	渡辺 葉	名取久仁春	五味 仙一	小倉 裕子	西 明子	採決結果
【請願・陳情】												
○賛成 △趣旨採択 - 継続審査 ●反対 ※棄権												
[陳情第6-5号]政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書		△	○	△	△	△	△	△	△	△	○	趣旨採択
賛成意見 現在、富士見高原病院でも医師の高齢化が進行し、今後の病院経営が心配される状況になっている。地域の医療・介護施設を守り、ケア労働者の賃上げや人員増を政府に働きかけるため、意見書提出を。 趣旨採択 黒字化している事業所のノウハウの研究やどう努力をしているのかの質問に対しては、満足な回答は得られなかった。しかし、医療介護ケア労働者の実態は認識できるので、まずは自助努力を望み、趣旨採択に。												 動画はこちら
【委員会・議員提出】												
○賛成 ●反対 ※棄権												
[議第11号]女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書(案)		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (意見書送付)
賛成意見 女性差別撤廃条約選択議定書の批准により、女性だけでなく男性も含めたすべての人の権利保障につながり、憲法14条が保障する法の下での平等がまた一歩前進するものと考え、賛成。 反対意見 国内ジェンダーギャップは、わずかではあるが改善されてきている。戦後、民主主義も男女平等の思想も根付いてきており、この意見書の権利主張ばかり先行することに同意できないため、反対。												 動画はこちら

審査のなかみ

委員会で審査された内容

総務経済常任委員会

みなし口径の適用

水道料金の口径別体系移行に伴い、大きく影響を受ける口径20mm以上のメーター使用者の負担を軽減するため、2年間のみなし口径による料金算定を行い、適正なメーター口径の検討および工事を実施するための猶予期間を確保することを目的とした条例の附則改正。

- Q メーター口径が過大である使用者に対し、みなし口径の対象になる旨の確認をとるのか。
- A あきらかに口径が過大であると思われる使用者に対しては直接連絡をしている。
- Q 申請件数によっては財政計画に影響するのではないか。
- A 料金算定の段階で可能性のある申請はすべて見込んでいるため、この制度によって予定していた料金収入を下回ることはない。
- Q 条例の失効期限が定められているが、申請が遅くなった場合も残りの月数しか適用されないのか。
- A 適用されない。期限が限られているので早めに申請をしてほしい。

テクノ街道舗装

- Q 舗装面が繰り返し陥没する箇所があるが、路盤の下まで補強することはできないか。
- A 路盤再生工法は路盤にセメント材を混入し硬化させるため、強度は向上する。
- Q 舗装改修工事の中で緊急自然災害防止対策債の対象となる範囲は。
- A 表層部分は起債の対象となるが、路盤の部分は町の単独事業として発注している。

住宅リフォーム補助金

- Q 住宅リフォーム事業の予算の上限は想定しないのか。
- A 制度周知によりニーズが高まっており、今のところ上限を設ける予定はない。

社会文教常任委員会

こども計画

- Q 貧困に対するアンケート聴取は。
- A 当初の子ども・子育て支援事業計画の中に含まれている。それに関するデータの分析。若者の関係はデータの収集や支援機関のヒアリングを追加して委託をする。若者の件に関しては町のホームページでも意見聴取をする。

陳情第 6-5 号：趣旨採択について

陳情者から提出された意見書(案)の「政府の責任」という文言は全ての責任を国に負わせる意図が窺え、病院経営など自助努力も求めるべきとの意見が多数を占めたため、委員会では趣旨採択すべきと決定した。

△
切り
取り
線
▽

< 切り取り線 >

あなたの声を聴かせてください

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。

本会議における 質疑

こども計画

- Q 年度途中での計画策定となった理由、および完成時期などは。
- A 子ども・子育て支援事業計画とこども計画の一体的な策定を模索していた。子ども・若者育成支援や子どもの貧困対策を計画に含めたこども計画が策定できる見込みとなり、実施に踏み切った。今年度中に策定し、来年度から実施したい。
- Q 補正予算の使用目的は。
- A 主に子どもの貧困および子ども・若者に関する統計データの収集や支援機関へのヒアリング費用。
- Q 子ども子育て会議に子ども・若者当事者は含めないのか。
- A 委員には主任児童委員、支援を行うNPO法人、高校生、大学生年代の保護者などが入っており、当事者の声を踏まえた議論はできていると考えている。



料金受取人払

茅野局承認

1724

差出有効期限
令和8年1月
31日まで
切手不要

3 9 9 - 0 2 9 0

長野県諏訪郡富士見町落合 10777

富士見町議会 行き



みなさんの **声** を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございます。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※いただいた内容は議会だより（匿名）で掲載させていただく場合があります

☐ 許可する ☐ 許可しない

< 切り取り線 >

TOPICS

来て 出会って 聞いて 言えて
よかった！

第7回 オープン
ミーティング開催

令和7年 2月15日 土

時間 13:30 ~ 15:30 (受付開始 13時)

場所 コミュニティ・プラザ2階 大会議室

テーマ・詳細は「議会だより2月号」等に掲載予定



NEWS

Facebook
随時更新中！



富士見町議会ではFacebookを随時更新中です。
一般質問や本会議の情報を確認いただけます。ぜひ
ご活用ください。



議会活動、全員協議会のスケジュールは
ホームページをご覧ください。



議会を傍聴しませんか？

定例会（予定）

11/28 木 ~

一般質問（予定）

12/2 月・3 火

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能
※入退場自由。役場4階へお越しください



予約制の託児も利用できます

これまでの傍聴人 単位：人



POST
SCRIPT

編集後記

子どもの話を「きく」ということを考え続けてきた。「聞く」のか「聴く」のか。行政視察等を通して、子どもの話をきくことは、子どもの意見を尋ね（訊く）、時には施策や子どもの自己実現につなげる（効く、利く）ことも必要なのだと考えるようになった。

9月定例会では、令和5年度決算審議後、議員全員の合意による政策提言をまとめた。議員間討論を経て、合意を生み出す過程でも、安心感と信頼感に支えられた話す場づくりの大切さを実感した。

議会広報編集委員 山口 肇

No. 184

議会だより

令和6年11月1日発行

「議会広報編集委員」
委員長：牛山 吉彦
委員：山口 肇・渡辺 葉

副委員長：西 明子

発行：富士見町議会 編集：議会広報編集委員会
お問い合わせ：富士見町 議会事務局 ☎0266-629403
〒309-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777



議会Webサイト



議会チャンネル